

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年11月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670700535
法人名	有限会社 マエダ
事業所名	グループホーム ねせぶ
所在地	鹿児島県奄美市名瀬根瀬部242番地1 (電話) 0997-55-6650
自己評価作成日	平成23年10月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年10月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームねせぶは根瀬部集落にある。根瀬部集落は奄美市と大和村の境に位置し、自然に囲まれ、海岸まですぐ近くである。集落は畑や小川があり、近くの家から機織りの音が聞こえる長閑な集落である。車の交通量も少ないので、入居者も安心して散歩や散策が楽しめる。グループホームねせぶは、そうした集落の方々が行う集落行事や地域活動に積極的に参加しながら地域との交流を大切にしている。また、近くの小学校・保育所とも連絡を取り合い、お遊戯会への参加やグループホームへの訪問なども行っている。こうした地域との連携が災害時に入居者の安全確保に繋がると考え、特に力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所と地域とは、日常的に職員と自治会との積極的な協力体制ができている。また、緊急時の地域との支援体制も確立している。
- ・職員の中で看護師資格者が6人おり、看取りの時や医療的なケアの面で心強い。また、介護福祉士の資格者が2人いて、利用者は安心した暮らしをしている。
- ・下肢筋力低下予防の運動を日頃のケアの中で行い、利用者の筋力の現状維持に努めている。特に立ち上がり時の筋力強化を行っている。
- ・事業所は、厚生面の対策が充実し、職員は安心して就労している。また、職員間の協調関係もよく、ホーム全体が明るく活き活きとした雰囲気づくりに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	昔から奄美は結いの心を大切に、生活してきた。開設当初から地域との繋がりを事業所の理念としている。	毎朝の申し送り時に、理念を唱和し、毎月のケア会議でも理念に対するケアのあり方等の話し合いをしている。職員会議で理念の見直しについて検討も計画している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	集落の敬老会等、地域の行事には積極的に参加し、入居者が地域と繋がりながら暮らせるよう配慮している。	事業所は地域の行事に参加しており、緊急時は地域の協力を得られる体制ができている。小学校や保育所の通り道で、子供達が学校の帰りに立ち寄ってくれることもある。また、地域住民から野菜の差し入れがあったりして、地域との友好を深めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	機会がある時に、集落老人会の会合や小学校で、認知症の理解や支援の話しをさせてもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回行われる運営推進会議には、家族の方や地域の方が出席している。そこで出た意見は職員会議やケア会議で報告し、日々のケアに活かせるよう努めている。	外部評価結果を運営推進会議で報告し、家族にも送っている。運営推進会議のメンバーから、災害時の避難路について等のアドバイスや意見をもらい、意見は検討してケアに活かしている。会議録は回覧して情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市町村担当者は、必要時に、電話やメールで連絡を取り合っている。	市の担当者とは、日頃から相談したり、メールや電話で交信している。グループホーム連絡協議会に加入しており、市主催の研修に参加し、情報等を聞き、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施設内での勉強会で、身体拘束をしないケアを学び、日々のケアに繋げるよう取り組んでいる。	玄関の施錠は日中していない。年間計画に、身体拘束廃止の研修を入れ、事例を出してグループで研修をしている。また、支援時の言葉かけ等についてもお互いに注意し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内での勉強会で、虐待防止を学び、日々の虐待防止に繋げるよう取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	後見人制度の研修会へ参加する等権利擁護に関する理解を深め、入居者が必要な時は関係機関と連携し、対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用開始・終了に際しては、ご利用者・家族と十分話し合い、不安や心配がないように努めている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情・相談責任者を決め、ご利用者・ご家族の意見や要望に対応している。また、集落区長に第三者委員になってもらい、施設職員以外にも苦情・意見が表せるよう配慮している。</p>	<p>下肢筋力低下予防に向けての取り組みについて等の利用者や家族の要望や意見を聞き、即対処し、運営に活かしている。また、相談苦情が施設の職員以外にも言えるように配慮し、第三者委員を設置している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的に職員会議を行い、その中で管理者は、職員からの運営に関する意見・提案をきく機会を設けている。</p>	<p>職員から、業務を通じての提案や勤務についての提案が活発に出ている。管理者は、それらの提案をていねいに話し合い、事業所の運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の能力や実績に応じて、やりがいのある役割、給与水準になるよう配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内での勉強会や、医療・福祉の関係機関が主催する研修に参加する機会を設け、働きながらスキルアップに繋がるよう配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大島地区グループホーム連絡協議会が主催する勉強会や研修会へ参加する機会を設け、施設間・職員間で情報交換できるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前、生活している場に出向き本人との面談の回数を多く持つようしている。また、入居後も関係者から情報を収集するよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>相談を受ける段階で細かな点に配慮し、家族からの困り事や不安を安心して話せるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>状況把握を見極める為に他のサービス担当者も交えて対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>常に言葉掛けを忘れず、出来る限り本人の意向を受け入れ、それぞれに合った声掛けや介助を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>病院の付き添い等ご家族にも協力して頂きながら、お互いに情報交換をし、気持ちを共有して共にご利用者を支えていけるよう努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの人に散髪してもらったり、ドライブをして住み慣れた町を見て回ったり面会に来て頂いたりしている。</p>	<p>買い物の途中で、馴染みの場所に立ち寄ることもある。また、手紙や電話で友人等と話すこともある。親せきの面会などがあり、関係が途切れないように支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>日中なるべくホールに集まり、ボール遊びや唄等をひとつのテーブルで行い、お互いの関わりを深めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス利用終了後も必要に応じて連絡をとり、その後の生活が安心して出来るよう配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話や言動で思いや意向を把握するよう努めている。困難な場合は家族の協力をもったり、本人の意向を尊重して検討している。	支援する前に、日誌やファイルに目を通して、本人の現在の思いをより深く把握するように努めている。困難な場合は、本人の言動からくみ取るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしについて、ご家族や関係者から情報収集に努め、それらを日々の声掛けやケアに活かせるよう心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	観察やバイタルチェック表を元に職員間で情報交換や話し合いを行い、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者ごとに担当の職員を決めてチームを作り、定期的にケア会議を行い、ご利用者・家族・関係者の意見等を反映させながら課題やケアのあり方について話し合いをしている。	定期的にケア会議を実施し、利用者への担当者を決めて、担当者 と利用者・家族・関係者等で意見を検討して、プランに反映させている。状態の変化で介護計画の見直しも随時行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録者は次に活かせるような介護記録の記入を心がけ、常に職員間で情報交換を行い、共有しながら介護計画の見直し・実践に努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況・状態に応じてご家族・関係機関と協議しながら対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>集落区長・地域ボランティア・老人会長等と必要に応じて連絡をとりあっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居後もそれまでのかかりつけ医への受診を基本としている。また、本人・家族が希望すれば、訪問診療が出来るよう支援している。</p>	<p>入居時のかかりつけ医の受診を支援している。また、本人・家族の希望で、事業所の協力医の訪問診療ができるように支援している。毎月、家族へのお知らせで、受診結果など報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護の知識を必要とする時は、その都度グループホームの看護師に相談したり、病院と連絡をとり合ったりしながら、適切な受診や看護への支援に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時のご利用者の混乱・ダメージが最小限になるよう病院と情報交換を行い、必要時には病院でのカンファレンスを行うなど、早期の退院に向けて連携し、対応している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化に関わる指針を説明し、終末期のあり方について家族と話し合い、必要時は医療機関と連携をとり方針を共有している。</p>	<p>協力医による看取りの支援ができるので、ホームで最後の時を迎えられるように対応している。また、看護師が数人おり、看取り時の医療ケアは、対応できる。職員は見取りに対するケアを共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急処置マニュアルを作成し、いつでも応急処置について確認出来るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>夜間帯、夜勤者しか居ない状況を想定した避難訓練を行い、課題や対策を検討し地域の協力も得られるよう体制を築いている。</p>	<p>消防署の指導による避難訓練や年2回の自主訓練を行っている。備蓄は食品や飲料水等がある。行政からの指導で舟も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に敬いの気持ちを忘れずに、言葉使いに注意し誇りやプライバシーを損ねないように、接し方・言動に注意して対応している。	ケアの中で気づいた時に、人格を傷つけないような声かけや接し方の研修を行っている。年間計画の中にも利用者の尊厳を守る勉強会を計画している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で自己決定出来る機会を設け、思いや希望を表す事が出来るよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や気分に合わせて無理なく一人ひとりのペースを大切に過ごせるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	気温や天気、その日の体調・気分に合わせて身だしなみを整え、その人らしいおしゃれができるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみになるよう下準備を手伝って頂いたり、食後はお盆拭きをしてもらったりしている。	利用者は、食材の下準備等を職員と一緒にしている。家族も参加してのソーメン流しやバーベキュー等を行い、楽しい食事を提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分量・食事量はチェック表に記録し、把握に努めている。体調に合わせて量や食べやすい形等を工夫し、支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の歯磨きの支援を行い、清潔保持に努めている。必要に応じて協力歯科の口腔チェックや治療を受けている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>定期的に誘導し、ご利用者のタイミングを見逃さないようにして、排泄の自立の支援に努めている。</p>	<p>利用者の排泄の状態をチェック表で把握し、時間をみて声かけを行ったり、さりげなくトイレまで誘導している。ポータブルトイレはあまり使用せず、トイレでの排泄の自立支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分補給を十分に行い、ラジオ体操等の運動を毎日心がけている。便秘時には牛乳等の早めの対応に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を楽しめるようにタイミング・声かけしながら、定期的に入浴をして頂き、清潔に努めている。また、希望時は、その都度入浴できるよう支援している。	週2回と決まっているが、毎日入浴する習慣の利用者にも対応している。入浴拒否の利用者には、清拭で対応したり、工夫している。また、排泄後にも声かけして、入浴の支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ソファや居室でいつでも休憩が出来る環境を整えている。昼夜逆転にならないように配慮しながら安眠や休息の支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	2人以上の職員で準備・確認をし服薬してもらっている。症状の変化に対し、薬の情報をいつでも確認出来るよう整理されている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除・洗濯・料理・唄・踊り等、得意な分野で力を発揮してもらえるよう役割や楽しみ事の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	その日の天候に合わせて、散歩や夕涼み等外出する機会を作り、施設内だけで過ごさないよう配慮している。またご家族に協力を得ながら遠出する機会を作り、支援をしている。	日常的に、利用者と一緒に近隣の散歩をして、外の空気を楽しんでいる。家族に協力をもらいながら、遠出の支援もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持を希望される時は、ご家族・ご利用者に納得して頂き、お金の所持・身の回りの支払いをしてもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族に電話をしたり、手紙を出したい時は出来るようにその都度対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>気持ち良く過ごして頂けるよう清掃、空調管理に努め、季節の花や食材等で季節感を味わってもらったりしている。</p>	<p>ホールは、天窓や外からの光が入り、明るい空間となっている。ホールからウッドデッキに出られ、利用者はそれぞれ外の空気を吸ったり、外気浴を楽しんだりしている。また、ホールに設置されているソファや食事用の椅子に座って、ゆったりとくつろげるように工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ベランダ・玄関先の椅子やソファ等で自由に思い思いに過ごしてもらっている。また、仲の良い人同士がテレビや会話が出来るよう席の位置等も配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族と相談し好きな音楽が聴けるようラジオやカセットデッキを居室に置いたり、家族の写真飾ったりして心地よく過ごせるよう配慮している。	各居室には、使い慣れたタンスや衣装ケースが置かれ、家族の写真・孫や学校の生徒が作った作品等が飾られており、居心地よく過ごせるようになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	トイレや居室が分かるように大きく表示をしている。また廊下やトイレには手すりが設置されており、安全に自立した生活ができるよう配慮している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない